広報 いまかね

教養をたかめ楽しく生活できる平和な町にいたしましょう。（町民憲章より）



'74年 3月号 No. 189

健やかな成長を

「あかりをつけましょボンボリに、お花をあげましょ桃の花…」

3月3日は楽しいひなまつり。

今金保育所でも遊戯室にひな壇が飾られ、もうすぐ一年生になる女の子たちの元気な歌声がこだましていました。明るい笑顔は一足早い春を感じさせます。

健やかに成長するよう、みんなで見守ってあげましょう。

生活環境の整備に強い関心

積極的に町政へ反映

意見要望

町民のみなさんのなまの声を広く町政に反映し、明るく住みよい町づくりをーと、毎年新年度予算編成前に開かれている町政懇談会。

ことしも、二月五日から十五日まで各部落に出向き十二会場で開かれましたが、合わせて四百人余りの参加があり、地域の切実な要望や町づくりのための建設的な意見が百六十三件も出されました。



メモをとりながら熱心な話し合い（種川）

12会場に400人

町政懇談会

各地区の懇談会には、町長、教育長、各課長が出席。まず、町長が国、道、町の事業に分けて当面の懸案事項を説明しました。

このあと地区の代表が司会に当たり活発な意見や要望が出されましたが、それに対して町理事者がそれぞれの対策、将来の見通しについて直接答えました。

一会場およそ三時間の熱心な話し合いは、いぜん町道、側溝の整備、除雪問題が中心。また、生活環境の整備にも強い関心が寄せられました。おもな問題と回答は次のとおりです。町ではこれらを尊重し積極的に町政におり込みますが、今後も意見、要望は、いつでも気軽にお聞かせください。

◇**町政の基本方針は（種川）**＝昨年策定された総合計画基本構想により進めるが、基本計画については毎年情勢の変化に対応して修正する弾力性があるので、要望はできるだけ取り入れていく。

◇**農田橋河畔緑地の整備を（農田）**＝花いっぱい運動と関連して助成を考慮したい。

◇**水不足が深刻な問題になっている。水道施設がほしい（中里）**＝第二次山振地区に指定を受け、簡易給水施設を検討する。

◇**温泉ボーリングの計画を聞いたが（種川）**＝四十九年度に種川市街地で実施する。成功した場合は特別養護老人ホームにも利用する考えだ。

◇**八束に墓地公園を設置しては（八束）**＝将来、統合火葬場を計画しており、それに合わせて検討していきたい。

◇**不燃性大型ゴミの捨て場を（今金）**＝なるべく早く市街地周辺に適当な場所をみつけたい。

◇**校舎の老朽化が著しいので改築を（金原）**＝五十二年度に中学校を統合、今金に校舎の新築を計画している。

◇**学校行事費の増額と体育参加旅費に助成を（美利河）**＝新年度で増額を配慮するが、体育参加旅費については、管外のものを中心に考えている。

◇**町道田代線の拡張を（田代）**＝ことしから三カ年計画で田代橋の延長工事が実施されるので、その後に計画している。

◇**国道の交通安全対策を（住吉）**＝ことしは神丘小前の千百㍍に歩道が設置される。北住吉駅前から住吉橋までの千二百㍍も開建に要望している。

◇**飼料の値上がりが激しく酪農家は窮している（日進、神丘）**＝全国的なことで憂慮している。関係機関に極力善処を要請する。

◇**消防後援会に町費助成を（今金）**＝新年度から出ぞめ式、総合演習の慰労会の費用を町費で負担する。

◇**地域集団電話の開通のメドは（美利河）**＝美利河、花石地区の百三十戸を対象に七月通話開始できる見通しになっている。

◇**美利河駅の無人化阻止を（美利河）**＝町、議会、住民会議など幅広く反対運動を進めている。今後も合理化阻止は、町民の盛り上がりが決め手になる。

◇**地籍調査を円滑に（金原）**＝こんとしは、豊田、金原、鈴金、神丘鈴岡地区で行うが、十分話し合い理解を得て進める。不在地主との連絡に協力願いたい。

待望の救急車

4月1日から業務開始



交通事故を起こした…、運動中にケガをした…、異常分娩だ…、一分一秒を争います。こんなときに町民のとうとい生命を守るため四月一日から救急業務が開始されます。

二人の患者を同時に運べるマイクロバス型救急自動車（写真）はすでに消防団本部に配車になっていますが「桧山広域消防組合今金支署」としてスタートし常備消防職員が増強されるのを待って運行されます。救急業務の範囲、要請手続きなどについてお知らせします。

生命が危険なとき

救急車が出動するのは、事故などによって人の生命、身体の安全を守るために緊急性のあることが絶対の要件です。

たとえば、交通、火災、風水害、労働災害、運動競技、水泳、犯罪などによる事故や、街頭、集会所でガスによる中毒、食中毒、腸捻転、気道閉鎖、異常分娩などが起きた場合、また、家庭内でも生命に危険を及ぼす病気、負傷の場合は出動します。しかし、指に切り傷をしたとか、カゼをひいたというような、自家用車などで患者を病院に輸送できる程度の軽い病気やケガの場合は、救急の対象になりません。

現在、救急業務をしている市町村でかかえている大きな悩みは、ハイヤーがわりに救急車を利用されることです。実際の問題として子どもが非常に高い熱を出した場合どうするかなど、具体的決定はかなり微妙な問題があると思います。この場合、出動するかどうかは、傷病者の状況によって消防支署長の判断で即刻決定されます。

一一九番に電話を

出動をたのむ場合は、一一九番してください。消防支署は二十四時間勤務ですから、いつでも出動可能です。費用は無料です。

救急車が到着しますと、患者をタンカで救急車に運び込み、患者または家族の指示する病院に急行します。病院は、原則として町内に限りますが、町外の病院に輸送する場合には消防支署長の許可が必要です。しかし、あまり遠くなると、町内の業務に支障をきたすことも考えられ、許可されない場合もあります。

なお、心臓病や脳いっ血で倒れた場合に、患者のからだを動かすと死亡することが考えられます。このような場合は、医師の指示によって処理します。しかし、事情によっては医師が来ることができず、しかも、そのまま放置しておいては容態がますます悪化する場合があります。このようなとき、患者の家族が「万一、死亡した場合でも、損害賠償の請求をしない」の文書に署名したときは、すぐ輸送します。

進路をゆずって

自動車を運行する人にお願いがあります。救急車が走ってきたときは、道路の左側に寄って進路をゆずるほか、交差点、またはその付近では、交差点を避けて左側に寄り、一時停止をしてください。

円滑な運行ができるよう、町民のみなさんの理解と協力をお願いします。

国民年金

五年年金、三月末日で締め切り

五年で老齢年金の受給資格が確保できる〝五年年金〟の加入受け付けは三月三十一日で締め切られます。

明治三十九年四月二日から明治四十四年四月一日までに生まれた人で、どの制度からも年金が受けられない人が対象です。五年間分の保険料（月九百円）を昭和五十年六月三十日までに納めると、翌月（七月）から九万六千円の年金が支給されます。この機会をのがさず、必ず期間内に役場年金係で手続きしてください。

特別給付金の申請を

老齢福祉年金は満七十歳以上の方に支給されていますが、昨年の国民年金法の改正で明治三十七年一月二日から明治三十九年四月一日までに生まれた人を対象に、こんとしの一月から月額四千円の特別給付金が支給されることになりました。年齢に該当する方でまだ申請していない方は、役場年金係で手続きしてください。

◎町職員の人事◎

〔一月十四日付〕▽退職　磯辺紀子（保育所）〔一月三十一日付〕▽退職　吉田辰雄（農政課）〔三月一日付〕▽町消防団本部へ出向　加藤富雄（国保病院）▽水道室水道係　一入節夫（新採用）▽福祉労政課福祉労政係　桜井繁（新採用）



賢い消費者に
婦人研修大会

ことしの婦人研修大会は、町内から約百八十人の主婦たちが参加し、二月十九日町民センターで開かれました。

午前中は、最近の物不足、物価高に対処するための「消費者生活講座」。道生活科学車あゆみ号が来町し、二人のコンサルタントから実験を交えて清涼飲料、洗剤、プラスチック製品、衣類の危険性や見分け方など開かされ、生活に見近かな問題だけに熱心にメモしていました。また、午後は、政治に参加する意義や町政の現況について勉強しました。

自ら研修に励む主婦たち

婦人学級で明るい家庭を



健康で明るい家庭生活をーと、二月から三月にかけ町民センター教養娯楽室で婦人学級が開かれています。約三十人が参加、主婦たちの自主運営によりVTR、OHPを利用し、家庭の健康管理、計画的な家庭生活、くらしを楽しくするレクリエーション、交通事故の分析など講師を囲んで話し合いながら学習しています。



午前中、青少年会館ではスポーツとレクリエーション。日ごろ家庭にとじこもりがちな主婦も、この日ばかりは大はしゃぎ。トレパン姿でドッチボールやなわ飛びリレー、卓球などに汗を流しました。

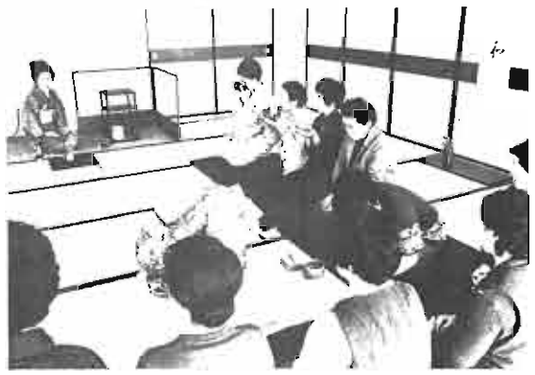
楽しく発表、活動、展示

全町の婦人が一堂に会して、自ら学習したことや婦人学級などで勉強したことを発表し合い、お互いの親睦を深めようーと、初めての婦人文化祭が町婦人団体連絡協議会の主催で3月8日盛大に開かれました。若いお母さんたちからおばあさんまで約400人も集まり、町民センターと青少年会館をフル利用。スポーツ、演芸発表、作品展示、調理会食、さらにお茶の勉強と、春の一日を楽しく和やかに過ごしました。



午後は、超満員の大ホールで芸能発表会。各部落代表だけに自信たっぷりの歌や踊りが次々と繰り出され、また、楽しいコーラスも間にはいり会場は手拍子と歓声で割れるよう。久しぶりに童心にかえっていました。





お茶の作法もたしなみのひとつーと、教養娯楽室での茶道教室では慣れない手つきで一生けんめい。

親睦を深めた初の婦人文化祭



文化展会場には、生け花、書道、刺しゅうなど約200点がずらり。趣味を生かした自慢の作品は見事なできばえ。



昼食会は各部落婦人の腕の見せどころ。両会場の調理室でカレーライス、おしるこ、まんじゅう、サンドイッチなどを作り大バザー。益金は光の里に寄付されました。

3万円以上はタダに

国民健康保険

高額療養費支給制度を新設

国民健康保険の加入者は、お医者にかかったとき医療費の三割を自分で負担しています。

この国保で、このほど一人一カ月の医療費（同一病院）の自己負担額が三万円をこえた場合、そのこえた分は国保が負担するという「高額療養費」の制度を発足させました。

手続きは、医療費を一度病院へ支払い「高額療養費支給申請書」を役場国保係に出していただきます。それにより、二、三カ月後に本人に払いもどされます。

病気やケガが重くて長期入院したり、大きな手術をした場合、負担が思いもかけぬほどかさんで家計を圧迫しますが、この制度はこうした心配を少しでも解消しようと設けられたものです。

税負担を軽くする ため健康管理を

しかし、国民健康保険事業はけっして楽ではありません。

苦しいなかで、お年寄りや乳幼児の医療費助成などが次々と実施され、また、人口の老齢化、高価な薬が保険で使えるようになったこと、医療費の値上げなどから、医療費もふえ続けています。

医療費がふえると、税の負担という形で私たちの肩にかかってきます。税の負担を軽くするためにも、ふだんから次のことを心がけましょう。

▽病気がなおりにくいからといって、次から次へとお医者を変えることは、医療費がかさむばかりでなく、余分な経費がかかります。お医者を信用することがたいせつです。

▽医療費の約半分は薬代で占めているということです。もらった薬は患者さんに必要なクスリです。飲み残しなどそまつにしないよう心がけたいものです。

▽病気は早いうちに発見し、早く治療するのが、なおり方も早く医療費も少なくてすみます。そのためには、結核検診、成人病検診、ガン検診、予防注射などは進んで受けましょう。からだに悪いところがなければ、とかく健康に無関心ですごしがちです。日ごろの健康管理がたいせつです。

職業援護相談所がスタート

季節労働者の労働条件の向上と協同福利を増進しようーと、季節労働者連絡協議会と出かせぎ援護相談所が一本化され、新たに「今金町職業援護相談所」が発足しました。

現在、町には季節的に町内外で就労する人が約千人を数えていますが、職安を通さずに就労するなどトラブルも多くあります。このため、組織をより強化し、働くものが手をとり合い、町も個面から援助して明るく健全な就労をしようとするものです。

二月十三日町民センターで開かれた総会には、町内の季節労働者約百人が集まり、規約を決めたあと会長に河端豊町長、副会長に新谷定治さん（南栗町）、遠藤秀夫さん（末広町）土田清治さん（東町）を選びました。

今年度の事業は、指導資料の作成、地域指導員の現地視察、健康診断の実施、安全就労推進集会の開催、グループ就労の指導などを計画し、さらに実態調査、雇用保険の加入を推進することにしています。相談所の会費は、男子会員が年額四百円、女子が二百円です。

役場福祉労政課に事務局があります。ので、気軽にご相談ください。

役場内に物資需給緊急対策本部

最近の石油、生活物資などの需給動向に対処し、総合的な対策を推進しようーと、役場内に「町物資需給緊急対策本部」が設置されました。町長を本部長に助役、教育長、各課長などをもうらし、商工観光課が窓口になります。

本部では、産業用物資（電力、石油、塩び管、セメント、印刷用紙など）と生活必需物資（灯油、プロパン、野菜、食肉、魚、小麦粉、砂糖、食用油、合成洗剤、石けんなど）に関し❶需給動向の調査❷供給の確保❸需要の抑制❹関係機関との連絡調整❺情報の収集提供および蓄情相談❻その他緊急対策が行われます。

長寿をおめでとう





◇学校、社会教育の推進に功績のあった青坂栄一さん（神丘小教諭・写真右）と磯部紀貞さん（今金郵便局職員・写真左）が四十八年度檜山管内教育実践表彰されました。青坂さんは、檜山教育研究所研究員など多くの役職を通じ、管内の道徳教育や複式教育の振興に尽力、また、磯部さんは、剣道連盟の役員としてスポーツ少年団の基礎を築き青少年の育成指導と組織の拡充に寄与しています。

◇松村俊昭さん（今金中教諭）の論文「コース選択制英語学習指導の実践」が道教育実践研究報告書に採用されました。この論文は、教師と生徒の人間的な結びつきのなかで六年間にわたり実践、検証、改善を重ね、能力差に応じた指導で学習効果が上がったことをまとめたものです。

◇伐採作業中の事故を防ぐためナタの柄を改良した研究発表を行った篠田正喜さん（今金営林署造林班長・花石）に函館営林局長賞が贈られました。

四月上旬オープン

希望の灯ともる〝光の里〟

桧山管内で初めての精神薄弱者更生施設「光の里学園」は、すばらしい自然環境に恵まれた神丘高台に園舎がほぼ完成、四月上旬開園の運びになりました。

恵まれない精薄者の人たちを可能な限り更生させ、家庭復帰や社会への自立を図る場にーという光の里。設置期成会をはじめ関係者の長い間の努力により、自転者振興会からの補助、町民の善意などが相次ぎ、町でも援助。昨年七月社会福祉法人に認可され、八月に四千三百万円の建設費で着工されていたものです。



ほぼ完成したユニークな園舎

メップやカスペの山々に囲まれた広々とした雪原のなかに〝希望の里〟を象徴したかのような真赤なトンガリ帽子。東西に五十三㍍もある居室棟の中央が鋭角に高く突き出ているユニークな設計です。

補強コンクリートブロック平屋建て六百六十一平方㍍の園舎には明るい日差しの当る畳敷き居室十のほか、指導、観察、医務、静養、食堂、浴場、会議などの部屋があります。

定員は、十五歳以上の男子二十人、女子十人で、入園者も次々と申し込まれています。

学園では、学園長、指導員、事務員、保母、調理員など九人の職員により、農耕、園芸、裁縫、木工などの作業学習を中心にした教育が行われ、集団生活を通じて社会で自立できるようにします。

町民の暖かい善意も相次いでいますが、今後も町民みんなの理解と協力が、りっぱな施設に育てる推進力になると思われます。

おしらせ



■国保被保険者証の検認は４月中に

国民健康保険の被保険者証（手帳）は４月中に役場の検認がいります。被保険者の資格や異動などの状況を再確認するために行われるもので、検認済スタンプのない被保険者証は５月１日以降使用できません。必ず４月中に役場国保係で検認を受けてください。

なお、学生など遠隔地用のものは、早めにとりよせてください。

■廃車届をしないと税金が

廃車届をしないと、その車にまた税金がかかります。乗らなくなったバイク、使えなくなった耕運機などありましたら、３月31日までにナンバープレートをもって役場財政課で廃車届をしてください。

なお、軽自動車や２輪の小型自動車は函館陸運事務所で手続きしてください。

■あなたも技能士を目ざそう

函館総合高等訓練校（函館市日吉町）では、２級技能士通信講座の受講生を募集しています。会社工場で働いている実務経験者が対象で、機械、板金、塗装、建築、印刷など29種の訓練科目があり、修了生には国家検定で学科試験免除の特典が与えられます。

学習内容は自学自習、質疑応答設問解答、面接指導などです。訓練期間１カ年で受講料は 4,000円 申し込みは随時受け付けています。

■危険物取扱者試験に申し込みを

ことし１回目の危険物取扱者試験は、５月26日江差町で行われます。受験希望者は４月１日から10日までに桧山支庁振興課へ願書を提出してください。願書類は役場消防係にあります。

くらし



貯蓄で物価抑制

最近の物価値上がりに対し、政府や金融機関では総需要抑制のため、財政支出の抑制や金融の大幅引締めを行っていますが、私たちも消費者の立場としてなんらかの努力をし、一日も早く物価の安定を図りたいものです。

このような意味で、道や道貯蓄推進委員会が中心になって、次の二つの面から物価抑制運動が展開されています。

一つは、物価の上がる原因には複雑な要素がからみあっていますが、基本的には供給に対して需要が多ければ価格は上がり、供給が需要より多ければ価格が下がるのが一般的な法則です。したがって消費者の立場としてできることはできるだけ不急不要の消費を抑制し、節約したお金を貯蓄することが物価を抑える一つの大きな力になります。

二つには、著しい経済の変動により業種によっては倒産、失業など突発的な事態がないとも限りません。その時には、われわれのくらしや家族を守る自衛手段としての貯蓄がどうしても必要となります。買う前に、お金を出す前に、本当に「これがなくてはくらせないか」と考えなおしてみましょう。

「貯蓄で築こう物価のとりで」

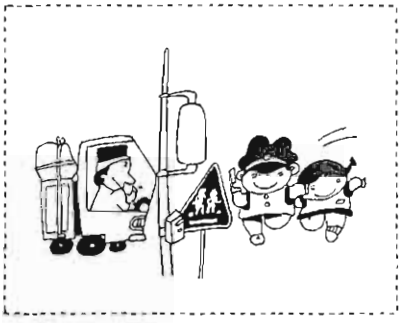
「貯蓄で守ろうわれらのくらし」

交通事故から守ろう

かわいい入学、入園児

来月からはいよいよ新学期。新しく入学、入園される子どもさんがたくさんいます。また、寒さがゆるんでくる三月から四月にかけては、戸外での遊びもふえます。

幼児や子どもをもつ母親、車の運転者、町内会、部落会では、次のことに十分気をくばって、交通事故から小さな生命の灯を守りましょう。



〔お母さん方へ〕

▽歩道と車道の区別をはっきり教え、歩道の安全性と、そこを歩くことを徹底させよう。歩道のないところでは、道路の「右はし」を歩くように教えよう。

▽交通量の多いところには、横断歩道があります。少しぐらい回り道をしても安全に横断できることを教えよう。

▽青、黄、赤の意味と、信号によっての渡り方、止まり方を正しく教えよう。

▽外で遊ぶことが多くなります。安全な遊び場をきめて、車の通るところには行かせないように。

〔運転者の方へ〕

▽学校、幼稚園、保育所などの付近では、子どもが突然飛び出してくることがあります。子どもを見たら赤信号と思って、一時停止を確実に励行しよう。

▽横断歩道に接近したときは、その前で止まれるように減速をしよう。

▽子どもが歩車道の区別されていない道路を通行していたら徐行し、安全な間隔を保って子どもの側方を通過しよう。

〔町内会、部落会のみなさんへ〕

▽危険な道路での遊びを防ぐために、子どもの安全な遊び場をつくろう。

▽危険な場所で遊んでいる子どもを見かけたら「愛の一声」で注意しよう。



■みんなで協力、除排雪を

近年にない大雪の冬も峠を越し雪解けの春もかけ足。除排雪作業（写真）も急ピッチで行われていますが、家のまわりや小路にある雪は、近所の方々みんなで協力し合って処理しましょう。

＝広報＝トピックス



■元気で学校へ行けるかな

健康なからだで入学してもらおうーと、新入学児の健康診断は二月下旬に町内の各病院で行われました。十一校百七十六人の子どもたちは、つきそいのお母さんの不安顔をよそに、おとなしく診断を受けていました。

住民の動態

	前月に比べて
人口	10,315（＋13）
男	5,110（＋13）
女	5,205（±0）
世帯	2,701（±0）

（1月31日現在の住民基本台帳人口）

◎たんじょうおめでとう

一橋麻衣子（茂　二女）本町
竹内　章郎（輝雄　長男）八束
桂川　聡（博勝　長男）田代
岡本　昌明（幸吉　二男）八幡町
佐藤　絵美（義雄　長女）神丘
菅又　光一（光男　長男）栄町
中野　光規（勇作　長男）緑町
八木　勝子（幸徳　長女）八束
油家　州史（弘美　二男）南栄町
町河　睦子（清弘　長女）神丘
田中　崇（明　長男）本町
久保田　誠（良治　長男）緑町
伊藤　学（優　長男）種川
奥田　洋（聡　二男）日出町
工藤久美子（肇　二女）南栄町

◎いつまでもしあわせに

栗城　敏雄＝岡部　民子　旭町
近藤　真一＝山口　紀子　金原
長谷川三郎＝堂前まり子　御影
矢内　靖生＝入井　厚子　花石
内ヶ島万寿男＝川上智子　寒昇
岡本　健二＝谷崎　恵子　中里
畑沢　信一＝加藤　照代　住吉
小田島親守＝山口　光子　金原

◆おくやみもうしあげます

館田　ミヨ　七十五歳　高美町
松村アヤコ　六十六歳　美利河
渡辺　関蔵　七十七歳　種川
出口シズエ　六十歳　鈴岡
山崎　節子　四十五歳　旭町
坂井　茂夫　三十五歳　八幡町
佐藤　ツヤ　七十七歳　末広町
小岩　泰　七十七歳　種川
宮谷志ゆん　八十三歳　寒昇
犬塚　ふさ　七十六歳　末広町
中川きよし　七十四歳　昭和町

（一月分）

発行・北海道今金町役場　編集・総務企画課　印刷・長門出版社　発行・49・3・20